

時をつなぐ 未来をつむぐまち 川越



川越商工会議所会頭 原 敏成 氏

川越市は、首都圏に近い地理的優位性を生かし、製造業・流通業・IT関連産業など多様な産業が集積している。さらに、伝統的な商業や近郊農業も発展し、商・工・農がバランスよく、そろって県内有数の産業都市である。

川越の魅力発信で企業を積極的に誘致

豊かな歴史と文化を資源とする観光では、「小江戸」の愛称で親しまれており、国内外から高い評価を得て、年間約735万人(うち外国人観光客約69万人)の観光客が訪れる。こうした観光と産業の共存が、川越の強い地域ブランドを支えている。

一方で、全国的な少子高齢化と人口減少を背景として、労働力不足や地域経済の縮小が懸念されている。最近では、居住地やビジネスを展開する場所として選ばれたための都市間競争も激しくなっている。今後は、新たな産業の育成や既存産業の競争力強化を進めるとともに、川越の魅力をもっと生かす。市内外の企業や個人、行政、金融機関、支援機関、学校などの連携も強化し、地域全体で中小企業を支える基盤づくりを牽引している。

創業支援は、川越の未来を担う新産業創出に直結する。創業支援に携わる行政・経済団体・民間事業者・政府系金融機関などによる連携協定をもとに、各機関のノウハウや強みを生かした支援を展開し、川越での創業を力強く後押ししている。今後も創業者から「創業するなら川越」と選ばれる魅力ある街づくりを進めていく。

中小企業は、深刻な労働力不足に直面しており、川越の中小企業も例外ではない。川越商工会議所では、2025年2月に創立125周年を迎えた。先人たちが紡いできた川越の産業や歴史と伝統を後世につなぎ、地域全体が持続的に成長する循環をつくるのが我々の使命である。スローガンとして掲げる「人と企業が輝く川越へ」変革に挑む！「の実現を目指し、力強い地域経済と豊かな街の創造に今後とも力を尽くしていく。



森田 初恵 川越市長

川越市は農業・工業・商業がそれぞれ発展し、県西部の経済・産業の中核を担う都市として成長してきた。都心からのアクセスが良く、充実した産業基盤と住環境を備えるほか、江戸情緒を残す「小江戸」として観光面でも魅力がある。一方で人口減少や高齢化による担い手不足、環境問題や防災対応などの課題を抱え、持続可能な社会の実現が求められている。そのためには、川越の工業集積が立地し、

関係道や圏央道のICへのアクセスに優れるなど優位な産業立地環境を有する。こうした立地特性に加え、本市独自の施策を展開し、市内外企業を問わず立地支援を行う体制を整えている。例えば、「企業立地奨励金制度」では、企業が事業所等を新たに設置する際の初期投資を軽減し、企業の立地支援や市内での設備の流出防止にも努めている。また、川越商工会議所との連携による川越ものづくりブランド「KOEDO E-PRO」認定制度では、市内の中小企業が開発した優れた製品や技術を確認し、広く情報発信を行うとともに、そのPR費用の一部を支援することで、既存企業の販路開拓・拡大を推進し、市内企業・関係団体等と連携し地域一体として、

このように、多様な施策を推進し、市内企業・関係団体等と連携し地域一体として、

業のニーズに合った物件情報や宅建業者などに一斉照会し提供することで、即時的な企業立地支援に繋げる。産業用地の確保・整備にも注力している。直近では、「園央鶴ヶ島IC」周辺地区において調整区域の地区計画を都市計画決定し、民間事業者による産業用地の開発が進められている。このように本市では、川越市都市計画マスタープランに位置づけられた地区に民間開発を誘導することで産業用地を創出し、市内産業の振興、新規雇用の創出及び固定資産税をはじめとした税収増加に繋がる企業誘致を進めている。

さらに、市内企業訪問や立地相談対応を積極的に行い、企業との関係構築・強化や、課題・立地ニーズ等の把握に努め、既存企業の流出防止にも努めている。また、川越商工会議所との連携による川越ものづくりブランド「KOEDO E-PRO」認定制度では、市内の中小企業が開発した優れた製品や技術を確認し、広く情報発信を行うとともに、そのPR費用の一部を支援することで、既存企業の販路開拓・拡大を推進し、市内企業・関係団体等と連携し地域一体として、

埼玉県内で最大の工業都市として知られる川越市で、モノづくり産業の持続的な成長に向けた取り組みが活発化している。他の地域と同様に川越も、高齢化、人口減少、後継者問題などの構造的な課題に直面している。そのような中で新技術の導入やデジタル変革(DX)を通じた経営基盤の強化・人工知能(AI)を使った事業の効率化や改革、そして社会ニーズの変化に適応した新産業・新事業の創出、地域金融機関や商工会議所を含む官民が連携して取り組んでおり、地域経済・産業の活性化へ効果が期待されている。今回は、森田初恵市長と川越商工会議所の原敏成会頭に話を聞いたほか、成長を続ける市内の有力企業を紹介する。



川越市は工業や製造業・観光・農業など多くの資源を持つ街

ISO/IEC 17025認定校正機関 RCL00030

計測器校正なら

Denkeiグループ 高品質・低価格・短納期の

ユウアイ電子株式会社

https://www.yuai.co.jp

本社・校正室 埼玉県川越市かし野台2-22-20
Tel 049-243-8611 Fax 049-242-1926 info@yuai.co.jp
西日本校正室 大阪府吹田市芝町15-30-101
熊本校正室 熊本県菊池郡菊陽町光の森4-12-9
刈谷校正室 愛知県刈谷市弘法1-5-16

LAN用CAT6A極細径パッチコード

TSUNET-EX ECO-S-CordV3-MP

特長

- 十字介在なしで外径4.3mm
- 10Gbps対応

通信興業株式会社 TSUKO

川越本社：埼玉県川越市市場1735-2
【お問合せ先】営業部：TEL：03-5946-8760 FAX：03-5946-8919

かわごえ産業フェスタ

川越ものづくりブランド KOEDO E-PROの25年度の認定証・表彰状が2社に授与された

政策金融の担い手として、安心と挑戦を支え、共に未来を創る。

JFC 日本政策金融公庫 事業資金相談ダイヤル 0120-154-505

地域発展のエネルギー

武州ガス

武州でんき 武州ひかり

※武州ガス株式会社は東京ガス株式会社の取次店として電気を販売します。
小売電気事業者 東京ガス株式会社/登録番号A0064
※さすてな電気は東京ガスの登録商標です。

川越市田町32-12 TEL (049) 241-9000

CO₂排出量実質ゼロ※

武州さすてな電気ビジネス

※武州さすてな電気ビジネスの主な電源はLNG火力です。
武州ガスの電力取り次ぎ元である東京ガスが再エネ指定の非化石証書を購入することによりCO₂排出量が実質ゼロになることを意味します。非化石市場の状況によってはCO₂排出量が実質ゼロにならない場合があります。

表面改質のExpert maker

成功！コストDown

ポンプ摺動部品 交換頻度75%ダウン

医療処置具 耐滅菌性

ブーリー、ゴム張替費用 90%ダウン

クリーンルーム保有

ナノコート®-S 処理品 顕著な摩耗なし

硬質クロムめっき処理品 下地が露出

株式会社フロロコート

TEL 049-225-4321 埼玉県川越市芳野台1-103-37
埼玉、新潟、愛知、岡山 4拠点をBCP対策も安心

御社のビジネスをDXで加速させる。

業務アプリ開発 インフラシステム運用 ヘルプデスク対応

ITによる業務効率化 Google Workspace Microsoft 365

株式会社タカインフォテック TAKA

低熱膨張合金 (インバー合金) のトップメーカー

お客様のニーズに合わせ 多種多様な材料を開発

新報国マテリアル株式会社

〒350-1124 埼玉県川越市新宿町5-13-1
TEL 049-242-1952 toiawase.eigy@shst.co.jp

ICシリーズ

- IC-ZX IC-LTX IC-DX
- IC-EX2 IC-36
- IC-WX VIC-65
- IC-EX1 IC-MX IC-36FS

使用温度 (+400℃) 室温 低温 (-269℃)

熱膨張係数 [10⁻⁶/℃]

耐食性 SLE-20 快削性 IC-36FS 高強度 IC-MX 高剛性 IC-EX1

お問い合わせはこちら